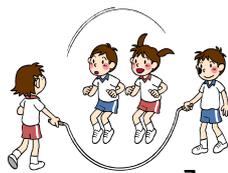


### 運動と健康についての実践研究の推進

八重山地区小学校体育研究会会長  
(竹富町立上原小学校 校長)



古濱 剛

子どもは、遊びの天才です。適当な3時間、時間・空間・仲間)を与えるとし、自然発生的に遊びを創りだし、夢中になつて遊んでいます。

子どもは、体を動かすことが大好きです。運動は成長の著しいこの時期に、体に適切な刺激を与えることによって、心身共に健康な発達を促します。

ところが、近年、運動の二極化が大きくなり、運動を日常的にする子とそうでない子の差が顕著になっていきます。小学校の運動部活動も年々盛んになってきていますが、同時に運動離れも進み、遊びそのものがテレビゲーム等に代わり、生活の中での運動量が減っています。

また、保健面では、自己コントロールができず、ヤレやすい子どもやエイズ教育や性教育等も大きな課題であります。

学校体育は、このような子どもが抱える発達課題に対応し、子どもたちの運動嫌いをなくし、生涯にわたって運動に関われる子と健康に関心をもち、実践できる子の育成を目標として授業改善を行い、実践研究を進めてきました。

昨年度は、沖縄県小学校体育研究発表大会を八重山で開催し、体育と保健についての公開授業を行い、多くの会員と関係各位の理解と協力のお陰で大きな成果を納めることができました。



県小学校体育研究大会授業の一コマ

今年度は、実技研修と授業研究を行い、今後も「運動と健康」について実践研究を進めていきます。

本研究会は、八重山地区における小学校体育の授業に寄与するため、これからも実践的な研修を企画していきたいと思っております。是非、研修に参加してたくさんヒントやアイデアを生かして、子どもたちにより楽しい授業を提供してほしいものです。

### お気軽にご参加を！ 講習会&公開授業

小学校体育研究は、八重山地区の子ども達へ、より一層充実した体育学習を提供していくことを目指し、学校体育実技講習会を開催しております。

昨年度は、筑波大学准教授・松元剛先生と、日本フットボール協会事務局長・小川昭彦先生をお招きし、八月にフットボール実技講習会を開催しました。六十名以上の参加者のもと、フットボールの教育的価値について」と題しての松元先生による講話と併せ、かなりの盛り上がりを見せた講習会となりました。

今年度は、八月十八日に、石垣小教諭・宮良善起先生と、登野城小教諭・大底和智先生を講師に、器械運動実技講習会を開催されました。

昨年度の西部地区学校体育指導者中央講習会文科省主催に参加した宮良先生による伝達講習としての開催という点もあり、新鮮かつ具体的な指導実践の事例の紹介と共に、参加した約四十名の先生方が、運動不足の体にむち打ちながらも、常時楽しそうに、いろいろに技に挑戦していました。

本研究会では、このように、会員の先生方をはじめ、本地区の先生方の要望等を集約し、定期的に実技講習会や公開研究授業を開催してまいります。

より多くの先生方と、日常の体育学習における指導上の悩みや成功例等の情報等を交わしながらの展開を大切に、参加して良かったあ〜」と言ってもらえるような講習会を目指してまいります。

講習会の開催に関するお知らせは、小体研の公文や事務連絡、ホームページ「近日開設」等で行います。何らかの形で講習会に関する情報が入った場合は、遠慮することなく、お気軽にご参加下さい。

次回の開催は、下記の通りです。

### 多くの仲間と共に

～器械実技講習会を通して～



石垣小学校教諭  
宮良善起

あゝ先輩教師から、小学生はオールラウンダーであること！その中で得意分野を必ず一つ持つこと！というアドバイスを頂きました。新採用から四年、特に私が入力して研究している教科が体育となります。

今回の研修内容は、平成十九年度子どもの体力向上指導者養成研修会「器械運動班」を通して学んできたことの伝達となりました。八重山地区の先生方に伝達できる場であること、また、共に研究を深めていく仲間が増えればという強い思いで、研究同人の登野城小学校教諭の大底和智先生と共に、今回の講師を喜んで努めさせて頂きました。

当日は、たくさんの方の参加があり、共に器械運動での指導のポイント等を確認できたことが何よりです。

この研修会で得たことを八重山の子ども達に還元し、体育好きな子どもが増え、それに応えられる先生方が一人でも多くなることを願っています。そして、体育を得意とした仲間とさらに研究を深めていければと思っています。

### 近日開催！「公開授業研究会並びに授業研究会」



授業者・高木健一郎(平真小教諭)  
単元名・フットボール(第5学年)  
期日・後日お知らせします。



# 小学校体育

「東京書籍編集部 編」より

## 学習指導要領改訂のポイント（運動領域）

### 学習指導の方法について

今回の改訂では、いずれの領域においても、成人が行っているスポーツをそのまま児童に与えるのではなく、**児童の発達段階に応じた教材の工夫が求められていることが重要である。**目標に「適切な運動の経験」と記されていることは、その証左である。それは、児童が心身の発達の特性に合った運動を実践することによって、運動の楽しさや喜びを味わうことを意味している。そのため、**児童の運動への能力・適性、興味・関心等の状況に即した指導が、意図的、計画的に展開されることが求められる。**

この点に関しては、大人の目からみれば必要性が十分理解できることは児童にとっても同じであると思いきむケースが、ままみられることへの配慮も必要である。スポーツの魅力や体力、健康の必要性は最たる例である。そのため、新学習指導要領では、発達段階を踏まえた適切さが随所で強調されている。



例えば、**運動する子どもとそうでない子どもの二極化や、体力の低下傾向を受け、低学年から体づくり運動が位置づけられたと言われれば、とにかくトレーニングを行う必要がある、あるいは単調であ**

**ってもその方が将来的な効果が期待できるといった認識のもとで、授業が展開されることも予想できる。**

その結果、体づくりの授業がややもすると、児童の興味・関心を欠いた単調な動きの反復に終わってしまうことも危惧される。そのため、**一人一人の児童がねらいをもって学習に取り組むことができるようにすることや、楽しく授業を展開することが求められる。**

また、**ゲームやボール運動においては、児童の実態に応じた、修正されたゲームの工夫も求められる。**これらのゲームは、**プレーヤーの数、コートや広さ、プレー上の制限、ボールその他の運動用具や設備などに関するルールを修正し、学習課題を追求しやすいうように工夫したゲームを指す。**このようなゲームの工夫が、教師には求められることになる。



加えて、一人一人の児童が確かな学習成果を身に付け、生涯にわたり豊かにスポーツを実践していけるようになる基礎を培うことを意図して、新学習指導要領では運動の取り上げ方が、現行の学習指導要領以上に弾力化された。それだけに、**地域や学校の実態を踏まえバランスの取れた年間計画や6年間の系統を見据えた指導計画の検討が求められることになる。**

## 平成二十年度地区小学校体育研究会役員

- 会長 吉濱 剛
- 副会長 佐事安弘
- 副会長 宮良勝也
- 理事 長 高木健一郎
- 副理事長 上原太郎
- 監事 運道恵理子
- 監事 入福濱 舞
- 計 新垣三貴子
- 新川小学校校長
- 新川小学校教頭
- 登野城小学校教頭
- 平真小学校教頭
- 石垣小学校教頭
- 石垣小学校教諭
- 新川小学校教諭
- 土原小学校校長

### 実技講習会スタッフ



昨年度のフラッグフット実技講習会の一コマ



フラッグフット実技講習会参加者みんなで…

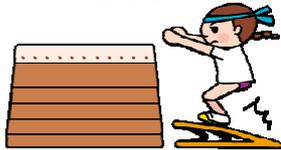


今年度の器械運動実技講習会の一コマ



今年度の器械運動実技講習会の一コマ

### 器械運動実技講習会に参加して 石垣市立平真小学校 大底香奈江



器械運動は、一歩間違えれば、その反面、体育実技で必要とされるバランス感覚、柔軟性、瞬発力といった様々な身体能力を遺憾なく発揮できる、とてもすばらしい運動だと、改めて実感しました。

子供に楽しさを伝えるには、教師自身が楽しむことが何よりも大切だと感じました。今後の教員生活では、私自身が楽しむよう子供とともに楽しめたいような体育を実践していきたいです。

ありがとうございました。



器械運動実技講習会の様子

鉄棒・マット運動、箱といった器械運動は、小学校体育のもっとも基本となるものだと思います。子供たちに楽しさを伝えるために今回の講習会を受講させてもらったのですが、実際にやってみると、自分自身が楽しさに気づかされた講習会でした。

<http://www31.ocn.ne.jp/~taiiku/index.html>  
器械運動に関する情報満載(上記HP↑)